



# 下境っ子

直方市立下境小学校  
校長 吉田 雅行

## 薬物乱用防止教室で、薬物の恐ろしさを学びました



本田さん

ここ数年、大麻で検挙される 20 歳未満の若者が急増しているそうです。2020 年には、6 年前の 11 倍以上の 899 人が検挙されたそうです。その原因の一つとして、インターネット等で、「大麻は身体への悪影響はない」などの間違った情報が若者に広がり、間違った知識となっていることが考えられます。子供達が、興味本位で大麻などの薬物に手を出さないようにするためには、正しい知識や情報が必要です。

そこで、1月21日(金)の5校時に、直方警察署少年係の本田さんと、スクールサポーターの小林さんをお招きして、5・6年生児童を対象にした「薬物乱用防止教室」を実施しました。子供達は、真剣に本田さんの話に聞きっていました。

薬物の恐ろしさについてお話いただいた後に、インターネットを使用する際に注意することについてもお話いただきました。本田さんが話された主な内容を紹介します。ご家庭でも、薬物の恐ろしさについて話題にしていただけたらと思います。

- ・福岡県は、過去、少年のシンナー使用での補導件数が14年連続全国1位
- ・薬物使用を始めた平均年齢が14歳
- ・薬物には、覚せい剤・大麻・危険ドラッグ・シンナーなどがある
- ・みんなに覚えておいてほしいこととして、「一回でもダメ！絶対」一回でも使うと止められなくなる
- ・薬物を使用すると呼吸器、消化器など内臓や脳の細胞が破壊される
- ・危険ドラッグの恐ろしさ  
どんな化学薬品が含まれているか分からない  
どんな症状が出るか分からない 強い中毒性があること  
大麻・覚せい剤よりも毒性が強い
- ・20歳未満 お酒やたばこはダメ 薬物の入り口に
- ・自分の身体を大切にすること 自分の命を大切にすること

### 【インターネットの注意点】

- ・信頼できる情報ばかりではない
- ・書き込みは、全世界が見ている
- ・犯罪に巻き込まれる危険性が・・・
- ・ネット依存になる可能性がある
- ・スマホに潜むトラブルの危険



スクールサポーター  
小林さん

非行にはしらないでほしい。SNS 上でのやり取りで、被害に遭わないように。卒業に向けて、その時にできることを一生懸命にやってほしい。中学に入学してからも。

### 【振り返り】

- 薬物の特徴や、薬物による依存症があることで、一度の使用で止められなくなることを知りました。だから、薬物はとても危険で絶対に使ってはいけない物だと分かりました。もし、薬物のことで誘われたら絶対に断ります。
- 私が大人になって薬物をすすめられたら、すぐに断りたいです。薬物を一回でも使ってしまうと、脳がとけてなくなったり、幻覚が見えたりするなど、たくさん知りました。もしも、私の周りで薬物を始めようとしている人がいたら、危険なことを教えたいです。絶対に薬物をやらないように気をつけながら、幸せに生活したいです。